

90	1	31	1	1	1	1	1								在宅(経緯無し)	1	1	記述無し	
91	1	33	1	1	1	1	1								本雇(48H)	1	1	記述なし	
92	1	33	1	1	94	1	1								パート(30H)	1	1	記述無し	
93	1	34	1	1	B1	1	1	不明							通所授産	1	1	記述無し	
94	1	35	1	1	不明	1	1	不明							本雇(42H)	1	1	飲むと止まらなくなって2日酔いをして仕事を休み、徹底して飲まなければ駄目、依存症ではない、風呂に入らない(月1回くらい)身だしなみに無頓着である	
95	1	35	1	1	99	1	1								小規模作業所	1	1	衣服に全く興味無く、親が揃えておいた物を着て、だらしなく着る(下着が出る)一度朝身につつけた服は変えるのを嫌がり、温度の変化の対応があまり出来ない、自分で髪を剃るがよく剃ってない、整理整頓が全くできず、部屋中本や印刷物が散乱している、気が向いた時と大晦日だけ周りに積み上げ掃除機をかける、出した物を元に戻すことができず、大騒ぎをして壊したり、イライラして怒り出す時もある	
96	1	37	1	1	不明	1	1	不明							本雇(40H)	1	1	記述無し	
97	1	39	1	1	B1	1	1	不明							在宅(経緯無し)	1	1	特に無し	
98	1	46	1	1	C	1	1	84							通所授産	1	1	身だしなみ、髭剃り、他人の注意を受けないとしないので平気、整理整頓、親の嫉も悪く全く駄目、寒暖の対応が下手、特に布団の調節は全くと言っていいほどできない、金銭管理はもらったお金を自分の欲しい物必要なことに使えるが、銀行の出し入れはもろろん、全体的なお金の管理は全くできない	
性別		資格		種習手帳		年金													
No		資格名		有無		有無		有無		有無		有無		有無		有無		有無	
合計		40		14		26		22		19		5		41		22		25	

総合計

男	女	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無
81	16			42	55							7	88	35	60				

表3. 年代別生活上の困難性一覧

項目	生活上困ること	6～13	13～18	19～	合計
	状況の理解が困難	1	0	0	1
	自分の考えが中心	2	0	0	2
	何かあったときの対応ができない	1	0	0	1
	なぜかわかっていないことが多い	1	0	0	1
	集団行動で問題がある	1	0	0	1
	先を見通す力が弱い	0	1	0	1
言語	言葉の意味をわかっていない	1	0	1	2
	助詞をうまくつかえない	0	1	0	1
感情	イライラ	0	1	0	1
固執	物欲が強い	1	0	0	1
	収集癖	0	3	0	3
	こだわり	0	0	2	2
強迫生	嫌な経験が急に思い浮かぶ	0	1	0	1
	限度の無い親への質問	0	1	0	1
	脅迫的になる	0	1	2	3
ADL	入浴をいやがる	1	0	0	1
	身だしなみ	4	3	17	24
	整理整頓	3	5	15	23
	忘れ物が多い	2	0	0	2
	物をなくしやすい	2	0	0	2
	食べ過ぎの肥満	0	1	0	1
	髭剃りができない	0	2	9	11
	時間にルーズ	0	3	0	3
	寒暖の調節	0	0	3	3
	掃除能力	0	0	2	2
	摂食障害	0	0	1	1
対人関係	人と自分の違いがわからない	1	0	0	1
	人との距離がわからない	1	2	0	3
	人と遊びたいがルールがわからない	1	0	0	1
	自分の要求が一方的	1	1	0	2
	周りの人たちの言うことを無視	1	0	0	1
	相手の都合を気にせず話しかける	1	0	0	1
	嫌な思いをさせられた相手に固執	1	1	1	3
	人が嫌がっているのがわからない	0	1	0	1

	言葉による攻撃	0	1	0	1
	他人に合わせた口の利き方ができない	0	1	0	1
	相手の気持ちがわからない	0	3	2	5
	人と接しない	0	0	2	2
	知らない人に交際を求める	0	0	3	3
社会性	給食時の馬食い状態	1	0	0	1
	物を噛む	1	0	0	1
	場面に応じた行動がとれない	3	1	0	4
	周りを意識できない	1	0	1	2
	クレジットカードに興味	0	0	1	1
	金銭管理	0	0	11	11
行動障害	高いところに登りたがり危険	1	0	0	1
	あまり考えずに行動してしまう	1	0	1	2
	家族への暴力	0	1	0	1
	パニック	0	1	0	1
	昼夜逆転	0	1	1	2
	多飲水	0	0	2	2
その他	無くしたものを見つけられない	1	0	0	1
	欲が乏しい	1	2	0	3
	一人で登校できない	0	0	1	1
	手先が不器用	0	0	1	1
	電話にでられない	0	0	1	1

・図1のIQと療育手帳の関係は、IQ61-70群で療育手帳の取得が最も多く、続いてIQ81-110群においての取得者も比較的多い。IQ121-141群では取得者は0となっている。

・図2の地域別療育手帳所持者は、神奈川、東京、埼玉、千葉、三重において取得率が良かった。これらの地域はアンケート回収率も高かったが、自閉症専門の精神科医がいることが要因として考えられる。

・図3の就労状況は、20歳以上の41ケースについて（6ケース回答なし）の回答結果であるが、本雇用9名、パート雇用8名、小規模授産2名、福祉工場1名、失業中7名、就労経験なし・在宅8名となっている。

就労経験なし・在宅の8名の中には、IQ120・91・82などの高機能群が見られるが、今後在宅している理由についての調査が必要と思われる。

また失業して在宅中のケースが7名おり、大学や普通高校（3名）を卒業している。福祉的就労（小規模授産、福祉工場）が3名、小規模授産の2名は、IQ117と92であった。

・図4の気づいた年齢と診断された年齢の関係は、0歳—3歳で気づいた群は

IQが比較的低いケースに多く、IQの高い群では、小学校普通学級高学年頃から思春期にかけて行動上の問題やいじめ、登校拒否などの問題が起きてはじめて専門医を受診、自閉症と診断されるケースが多く見られた。

またこれら高機能群の中には、18～20歳を過ぎた頃から家庭内暴力や社会生活上での問題を起こして精神科受診につながるケースが少ない。知的に遅れがある自閉症児・者は高機能群に比べ診断を受ける時期が圧倒的に早いため母親の障害受容も早いですが、今回のアンケートに見られるようなケースでは、我が子に自閉性障害があることに気づいていない母親が子どもに対してかける過大な期待によって子どもに大きな心の負担をかけてしまったりしている、あるいは母親自身も精神的に大きな悩みをもちながら生活をしている状況が感じられる。

・図5、6、7については、教育に対する要望を集約するためのアンケート項目の中で質問をしたものであるが、図5の「先生・友人などの理解がある」と答えた人が54%と比較的高い数値であるが、自閉症についての正しい理解が得られているというものではないことが自由記述から読み取れる。図6の「不登校」は全体の41%に経験があり学校生活における環境整備を含めた改善が望まれている。図7の「いじめ」は全体の72%が経験を持ち早急な対応が望まれる。

・表1、2は、～19歳、20歳～にわけて「生活上困ること」の具体例を性別・年齢・療育手帳の有無・等級・IQ・最終学歴・てんかん発作の有無・投薬の有無などの状況とともに個別に考察出来るように集計したものである。

・表3は、上記の「生活上困ること」を項目別に年代を分けて集計したものであるが、高機能群では言葉の発達が比較的良いために一般の人たちが障害があるとは思わずに接していることが多いため、自閉症特有の対人関係・コミュニケーション障害に起因する問題（一方的な発言や行動など）への理解を得ることができずトラブルにつながってしまう例が多く見られた。また自分自身もどうしてよいか分からず悩んでいるという本人の姿が見受けられた。

6歳～13歳頃の年代では、身だしなみや整理整頓、忘れ物、場面に応じた行動が取れないなどの項目で該当者が多いが、成人期においても身だしなみの悪さ、整理整頓、金銭管理、知らない人に交際を求める、髭剃りが出来ない、時間にルーズ、寒暖の調節が出来ない、相手の気持ちがわからない、場面に応じた行動がとれないなど生活上の困難さは減少することはない。昨年度の研究で取り上げた発達という視点からの調査結果「他人に対して起こる感情の発達の度合いの低さ」とクロスして考えると、身だしなみや髭剃りが出来ない要因が関係あるように思われる。

4. まとめ

今年度は、高機能広汎性発達障害（HPDD）の人たちが現在抱えている生活上の問題点や困難さについて調査した。高機能広汎性発達障害の人たちが社会の中で自立して生活をするためには、本人のもつ障害への直接的なアプローチ（発達支援プログラム）はもとより、生活の困難さの軽減をはかるための様々

なシステム（支援プログラム）などが必要であると考え。今年は、昨年引き続きそれらの基礎資料の収集が進み、個々にあるいは全体像として問題点をいくつかクローズアップすることができた。本人がもつ生活上の困難さの軽減はともに暮らす家族への支援につながると確信している。次年度はさらに療育・教育に関する問題にも研究を広げ、より明確な検討に発展させたい。

そして将来にわたる福祉的支援、就労支援等を須田班としてどうあるべきかを考えて最後のまとめとしたい。